

環境大臣 浅尾 慶一郎 様

有機フッ素化合物(PFAS)対策に関する要望

平素は明石市環境行政の推進につきまして、格段のご配慮とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、かねてより社会的な関心が高かった有機フッ素化合物につきましては、令和2年の環境省によるPFOS及びPFOAの全国存在状況把握調査の結果の公表以降、さらに国民の注目を集めています。

本市におきましても、水道水源の一つである明石川上流域で暫定目標値等を上回るPFOS、PFOAの検出について、各種メディアで大きく取り上げられる中、市民団体等による独自の血中濃度検査が行われるなど、他の自治体以上に市民の関心と不安が高まっている状況です。

明石川のPFOS、PFOA汚染源は、流域の大半が位置する隣接自治体の神戸市にあると考えられ、同市において、その特定のために広範囲にわたる水質測定をはじめとした様々な対策を講じていただいているところでありますが、いまだ明確な汚染源は特定できておりません。

また、人に対する健康影響に関する確定的な見解が定まっていない中、報道等により有害性があることを前提とした様々な情報が発信され、国民の不安は過剰に高まるばかりです。

以上のことから、明石市として、市民の安全・安心を守るため、貴職に対してPFAS汚染対策のさらなる加速化を求めるべく、下記のとおり要望いたします。

記

1 汚染源の特定及び暫定的な対策に係る財政支援等について

暫定目標値を超えてPFOS、PFOAが検出されている地域において、その原因を正確に特定するためには、調査の地点数や頻度の拡充が必要であるが、予算や技術的問題から、地方自治体にとって大きな負担となるため、国が直接対象地域の調査を実施すること、もしくは地方自治体への財政支援を行うこと。また、原因が特定され対策が講じられるまでの間、暫定的に地方自治体が独自に行う水道水のPFAS濃度の低減対策についても、その技術的支援や財政支援を行うこと。

2 血中モニタリング調査の実施について

PFASに関する日本人の平均的な血中モニタリングについては、現在、貴職において、パイロット調査を実施しているところであるが、早急に本調査へ移行するととも

に、全国平均と特定地域や、市民団体等が実施する自主的な調査結果との正確な比較が行われるよう調査方法や検査方法を確立すること

3 国による積極的な情報発信について

PFASに関する国内外の様々な情報が乱立する中、特に血液検査と健康影響との関係や農水産物の摂取といった人の命と健康に関わることについて、国民がパニックに陥ることないように、正確なリスク情報の発信を強力に推進すること

2024年10月18日

明石市長 丸谷 聡子

